《非自治会員の皆様へ》

校区自主防災会からのお願いです。

大きな地震が発生したら、以下の行動を取ってください。

1. 以下の手順で安否確認をします

- ① 一番最初に自身の安全を確認します。
- ② 同居の方々の安全を確認します。
(同居していない方の安否確認は以降の作業と並行して行ってください)
- ③ 近隣(前の家、左右の家、はす向かいの家)の方々の顔を確認します。
- ④ 近隣の方々のけが人の有無及び救助・救済が必要かどうかを確認します。
- ⑤ 顔の見えない家に行き、安否の確認をします。
外面的には何も無いように見えても、中で家財の下敷きになって、声も出せない状況もありますので、留守であることが明確である場合を除き、時として家の中を窓からのぞき込むことも必要かと思われます。(その際、必ず複数名での行動をお願いします)
- ⑥ 班長は班の状況を取りまとめます。
- ⑦ 班長は自治会長に報告します。

☆非自治会員の方も同じ行動をしてください。尚、上記の安否確認の手順は一例です。

2. 避難するかどうかを判断します

- ① 被災者は、小学校へ避難するか、在宅のまま(車中泊を含む)とするかを決めます。
- ② 自治会長は、班長を通じて、避難する人は〇時に一時招集場所に集合する旨を周知します。
- ③ 避難される方は、決められている一時招集場所に貴重品と最低3日以上の水・食料をもって集まります。(避難所に着いても、最初の3日は水・食料の配給はありません)
- ④ 在宅される方(“在宅避難者”と言います)は、その旨を自治会長に伝えてください。
在宅する人数、医療が必要な要支援者がいるかどうか、及び連絡先も伝えてください。
家ではなく、車の中で生活する人もいるでしょうが、それらの人も“在宅避難者”とします。
- ⑤ 自治会長は、地域住民の全員の情報が集まった時点で、避難を開始します。

☆非自治会員の方も一緒に行動してください。

3. 支援物資の配給

- ① 避難所(小学校)に避難された方には4日目以降に水・食料が支給されます。
- ② 在宅避難者の分は、自治会長が小学校に取りに来ます。
地区の自主防災会専門委員から通知が行きますので、自治会長は指示に従います。
- ③ 自治会長が避難者を引き連れて小学校で受付を行った際に自治会内の人数を報告することになっていますので、その人数分を渡すことになります。
非自治会員の方々は、自身が避難しないとしても、一旦一時招集場所に行って、在宅避難者の数を必ず自治会長に報告しなければなりません。

☆そうしないと、配給品が受け取れなくなることもありますので、くれぐれもご注意ください。

以上につき、質問がある方は、自主防災会会長 高木(090-3405-3899)へお願いします。